

# 令和5年第4回定例公安委員会会議録

開催日時 令和5年2月16日(木)午後0時15分～午後4時15分

開催場所 警察本部各執務室、西部地区運転免許センター聴聞室  
浜村警察署執務室(リモート)

## 第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時40分

2 出席者

公安委員会 久本委員長 衣笠委員 勝部委員

警察本部 雲田警務部長 笠田首席監察官 前田生活安全部長  
河本刑事部長 柴田交通部長 加藤警備部長  
植木警察学校長 見垣情報通信部長 岸本浜村警察署長

(事務局等～畔田公安委員会補佐室長、辻室長補佐)

3 議題事項

警察職員等に対する援助要求(警備部)

### 警察本部

島根県公安委員会から、松江市内において開催される第18回「竹島の日」記念式典開催に伴う特別派遣のため、援助要求があった。

### 委員

このとおり決裁する。

式典が粛々と進められるよう、警備に万全を期していただきたい。

4 報告事項

- 職務倫理検討会の実施結果（警務部）
- 令和4年中の遺失、拾得物の取扱状況（警務部）
- 令和4年度サイバーコンテスト（捜査部門）決勝の出場結果及び令和4年度鳥取県警察サイバーコンテストの開催（生活安全部）
- 歩行者支援装置（高度化PICS）の運用開始（交通部）
- 第18回「竹島の日」記念式典に対する鳥取県警察の対策（警備部）
- 3月中の入校及び訓練概況等（警察学校）
- 浜村警察署の取組（活動）状況（浜村警察署）

#### （1）職務倫理検討会の実施結果（警務部）

##### 警察本部

職務倫理教養を充実させ、職員一人一人の倫理観、使命感及び責任感を高め、県民の期待と信頼にこたえる強い警察を確立するための取組の一環として、全所属において、小集団討論形式の職務倫理検討会を実施した。

この検討会での検討課題は、飲酒に絡む不適正事案と携帯電話の不適正使用事案の2項目であった。職務倫理教養は、11月1日から12月28日までの間、全38所属で、1,386人が参加した。参加者からは、「自分の考えだけでなく、他人がどのように考えているのか、論点・防止策等を全員で検討して話し合うなど、とてもいい勉強になった。」などの感想があった。検討会を通じて、警察職員としての危機意識をさらに深めるものになったと考えているが、不適正事案につながる危険性は日常的に懸念されることから、引き続き、職員一人一人の倫理観、使命感及び責任感を高めていくことが必要である。今後、各所属の実施内容を踏まえ、執務資料として各所属に還元することにより、一層の倫理意識の浸透を図ることとしている。

##### 委員

この職務倫理検討会は、大変重要なものだと思う。不適正事案の発生は、倫理観、使命感及び責任感の欠如からくるものだと思う。警察は、どの職業よりも高い倫理観等が求められると思う。また、そうであるからこそ、県民から信頼されるのだと思うので、こういった検討会を行うことで、引き続き高い倫理観等を持って職務に当たっていただきたい。

##### 委員

この職務倫理検討会は、毎年1回、この時期に行われているものか。

##### 警察本部

職務倫理に焦点を絞った検討会は、今回が初めての開催である。職務倫理に関する教養は、各警察署等で、本検討会以外でも実施している。

#### 委員

県民は、警察官に対して高い倫理観を求めていると思う。このような検討会を通じて、職員一人一人の声を聞き、それをしっかりと日頃の業務に役立てていただきたい。

#### 委員

この倫理観、使命感及び責任感は、どの職種にも非常に大切なものであるが、県民は、警察官に対して高いレベルを求めている。こういう検討会の開催は、大変有意義であり、今後も引き続き、意識を共有し、高めていっていただきたい。

### (2) 令和4年中の遺失、拾得物の取扱状況（警務部）

#### 警察本部

令和4年中の遺失物届出状況は、現金が1億1,776万5,814円で、昨年より約781万円増加し、物品は1万7,385点で、昨年より1,167点増加した。月別では、現金の届出は8月が前年比率が大きく、年間最多であった。物品の届出は、1月と2月を除いて、前年より増加した。

拾得物届出状況は、現金が6,972万4,645円で、昨年よりも約576万円増加し、物品は4万2,308点で、昨年より3,229点増加した。月別では、現金の届出が1月、8月及び11月に前年よりも増加した。物品の届出は、2月及び4月を除き、前年よりも増加した。

拾得物の内訳は、生活用品類、衣類・履物類、証明書類・カード類が上位を占めていた。現金の返還状況は、遺失者へ返還する割合が最も高くなっている一方、物品の返還状況は、県への帰属が最も多くなった。拾得金額の最高額は140万9,757円であり、遺失者に返還済みである。

#### 委員

拾得物届出の処理は、大変膨大な作業だと思う。警察業務が膨らむ中で、アウトソーシングすることも一考の余地があると思う。

#### 委員

令和3年と令和4年を比較すると遺失物と拾得物の届出は全体的に増加しているが、令和2年以前と比べると、どのような傾向となっているか。

#### 警察本部

コロナ禍になってからは、届出件数等は減少した。人の動きが活発になるにつれて、届出件数等も増加している。

## 委員

遺失物の中には、盗難被害に遭ったものが含まれているかもしれない。そういうことも考えながら、届出受理をお願いします。

- (3) 令和4年度サイバーコンテスト（サイバー捜査部門）決勝の出場結果及び令和4年度鳥取県警察サイバーコンテストの開催（生活安全部）

## 警察本部

本年2月17日、警察庁主催のサイバーコンテスト捜査部門の決勝が、リモート形式で開催され、本県からは予選94チーム中、3位で通過したチームが出場し、優勝した。また、本年2月13日、2回目となる鳥取県警察サイバーコンテストを開催した。これは、サイバー空間の脅威に関する捜査活動に必要な高度で専門的な知識・技能に関する研さんを推進し、警察組織の人的基盤強化を図ることを目的としており、警察本部を主会場としてリモート形式で実施した。大会には、警察本部各部及び各警察署から1チーム2名、合計14チーム28人が出場し、各種ログ解析などサイバー犯罪捜査手法を駆使して、得点を競った。結果は、優勝が米子警察署、準優勝が鳥取警察署であった。今後、今大会の問題解説等のフォローアップを実施予定である。

## 委員

全国優勝は大変な快挙であり、県民にとっても朗報であると思う。かなり高度な基礎知識がなければ、サイバー犯罪に対応できないと思うが、県警察では、そのような専門的な知識を有する方を採用しており、大変素晴らしいと思う。日々、犯罪の技術も進歩していることから、引き続き、弛みない研鑽をお願いします。鳥取県警察サイバーコンテストも、警察職員のレベルアップのため、今後も継続していただきたい。

## 委員

全国優勝も快挙であるが、今後、eラーニングを活用するなどして、全警察職員に対する教養を実施するという取組が大変素晴らしいと思う。今回、全国優勝された方々がリーダーシップを発揮し、サイバー部門でしっかりと活躍していただきたい。

## 委員

今回の結果は、県民の誇りとなることなので、是非、幅広く広報していただきたい。鳥取県警察サイバーコンテストについても、警察職員のレベルアップにつながるものとしていただきたい。

#### (4) 歩行者支援装置（高度化PICS）の運用開始（交通部）

##### 警察本部

これまで視覚障がい者等の移動の円滑化のために、「ピヨピヨ」、「カッコウ」などの音で青時間を知らせる音響信号機の整備を進めてきたところであるが、夜間は、周辺住民の生活環境への配慮のため、その鳴動を停止させている。視覚障がい者団体から、夜間においても鳴動させてほしいとの声が寄せられていることから、本年度、歩行者支援装置、いわゆる高度化PICSを鳥取県内で初めて導入した。この歩行者支援装置は、Bluetoothという通信装置を活用して、スマートフォン等に対して、音声や振動で交差点名称や歩行者用信号情報を送信するシステムで、音響式信号機の夜間鳴動に替わるものとして期待できるものである。装置のメリットは、装置を設置する際に周辺住民と調整が容易なほか、夜間の時間帯でも歩行者支援が可能なが挙げられる。

令和4年度は、鳥取市栄町地内の若桜街道交差点と米子市内の米子駅前交差点に設置することとしている。装置は、2月22日に米子駅前交差点、2月27日に若桜街道交差点において運用を開始する予定である。今後、利用者の意見を聞きながら、整備の拡充とともに音響式信号機器の鳴動時間を延長することについて、障がい者団体等の意見を聞きながら個別に検討していく。

##### 委員

この歩行者支援装置は、歩行者の安全につながるものであるし、近隣住民への配慮もできるとのことなので、このような装置は普及して欲しい。本県は、4か月以上、死亡事故がゼロということであるが、交通部を中心として県警察が大変な努力をされている結果だと思う。歩行者が関係する事故は、死亡事故につながりやすいので、このような歩行者の安全を守る装置の設置等をしっかり進めていただきたい。

##### 委員

設置場所について、個別の検討が必要だと思うので、周辺住民の方と調整しながら、計画的に装置の設置を進めていただきたい。

##### 委員

歩行者支援装置の運用が始まるということで、大変良いことだと思う。現在の音響信号機は、常時鳴動しているのか。

##### 警察本部

音響信号機の鳴動時間は、交差点ごとによって異なる。これは周辺住民の意見を反映しているためである。例えば、この度の若桜街道交差点では、午前7時から午後9時まで鳴動しているが、その時間帯以外は音響は停止している。米子駅

前交差点では、午前8時から午後8時まで鳴動しているが、その時間帯以外は停止している。

(5) 第18回「竹島の日」記念式典に対する鳥取県警察の対策（警備部）

**警察本部**

今月22日、松江市内において「竹島の日」の記念式典が開催される。

警察では、式典の開催に伴う不法事案の発生に備え、トラブル等の未然防止対策を推進することとしている。

**委員**

式典が粛々と進められるよう、各種事案の未然防止対策をお願いする。

(6) 3月中の入校及び訓練概況等（警察学校）

**警察本部**

3月中の入校関係は、初任補修科第43期の採用時教養を引き続き行い、専科は、留置管理業務任用専科が入校予定である。

3月中の行事・訓練関係は、初任補修科第43期生が、逮捕術検定を受検するほか、キャリアプラン教養、監察教養、卒業式を予定している。

2月中の行事・訓練関係は、初任補修科第43期生が、基礎的捜査書類作成能力検定を受検したほか、卒業考査、術科技能検定、柔剣道昇段審査を行った。そのほか、初任科第96期生は、1月中に大山冬山救助訓練を実施し、1月31日に警察学校を卒業した。

**委員**

全国的に留置施設での不適切事案が発生している。留置施設での業務は、単純ではあるが非常に責任の重い業務である。留置管理業務任用専科生が入校予定であるが、留置管理業務の重要性をしっかりと教養していただきたい。大山冬山救助訓練は、初任科第96期生全員が参加したのか。

**警察本部**

そのとおりである。全員が最後まで訓練をやり遂げることができた。

**委員**

初任補修科第43期生は卒業し、これから一人前の警察官としてスタートすることと思う。学校教官の方々には1年間、幅広い教養、訓練を実施していただき、最後まで育てあげていただいたことに大変感謝している。現場でも警察学校で学

んだことを生かして、経験を積んでいってほしいと思う。

#### 委員

警察学校で教養、訓練をしっかり行っていただき感謝申し上げます。コロナ禍では、柔剣道の訓練が思うようにできなかったと思うが、現在はどうか。

#### 警察本部

感染防止に十分配慮しながら、通常どおり行っている。

### (7) 浜村警察署の取組（活動）状況（浜村警察署）

#### 浜村警察署

浜村警察署から、特殊詐欺被害の抑止対策の取組状況のほか、交通死亡事故抑止対策及び一事案解決、鷲峯山麓ハーフマラソンの開催結果並びにワークライフバランスの推進状況について説明がなされた。

#### 委員

住民と一緒にあって、住民の要望を取り入れながら、活動を行っていただいた結果、管内の治安が保たれていることがよくわかった。住民からの要望は、警察署協議会の場以外でも多く寄せられているのか。

#### 浜村警察署

住民の方から個別に相談や要望が寄せられることが多い。その相談、要望に対して、当署では丁寧、迅速に対応している。

#### 委員

自動車専用道路が設置されてから、管内の交通環境等が変わったと思うが、治安情勢で変わったことはあるか。

#### 浜村警察署

特に変わったことはない。管内は住民のつながりが大変強く、住民の目も行き届いているように思う。少しでも不審なことがあれば通報していただいております、当署としても大変心強く感じている。

#### 委員

住民と一緒にあって管内の治安を良くしていこうとしている浜村警察署の姿勢が住民に伝わっており、そのため住民も要望等を出しやすいのではないかと思います。

#### 委員

住民、職員の声をしっかり聞いて、一つ一つ丁寧に対応していただいている。特に、住民の声に迅速に対応しているところが大変素晴らしいと思う。初開催であった鷲峯山麓ハーフマラソンについて、今回把握した問題点を改善して、来年の開催に役立てていただきたい。

#### 委員

住民の声にしっかり対応していただいているので、住民も浜村警察署を頼りにしていると思う。近年、市民マラソンが盛んで、地域おこしのツールにもなっていることから、円滑に開催されるよう、大会への協力をお願いする。

## 第2 その他の公安委員会活動

### 1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取5件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

### 2 聴聞

運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞1件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

### 3 事前説明

- ・警察庁主催サイバーコンテスト及び鳥取県警察サイバーコンテストの結果
- ・第18回「竹島の日」記念式典に対する鳥取県警察の対応
- ・警察職員等に対する援助要求

### 4 報告事項

- ・開示請求に係る審査請求の審議会からの答申（4件）
- ・大規模警備対策委員会の開催結果

### 5 決裁

- ・開示請求に係る審査請求の審議会への諮問（3件）
- ・公安委員会規則の一部改正（2件）
- ・公安委員会規程の一部改正
- ・警察職員等に対する援助要求



6 公安委員会委員間の事前検討・協議等

7 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。